

NEC

N8151-12BC **内蔵 DAT 取扱説明書**

ご注意

- 製品をご使用前になる前に必ず本書をお読みください。
- 本書は、製品とともに大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただき、お客様の危害や財産への損害を未然に防止するために、次の表示を使用しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を説明しています。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容または物的損害のみの発生が想定される内容です。

お守りいただく内容を説明しています。

	気をつけていただきたい「注意」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 必ずお守りください



警告



本ユニットの分解や改造は絶対にしないでください。

(本体カバーを外すなど)

火災や感電の恐れがあります。



本ユニットの上や近くに液体等を置いたり、内部に金属類や異物を入れないでください。

もし、万が一異物等が混入してしまった場合には、回路部分のショートや感電を防止するためにも、すみやかに(電源スイッチを切り)電源プラグを抜いてください。



本ユニットが万が一破損した場合、もしくは異音や異臭が生じた場合には、回路部分のショートや感電を防止するためにも、すみやかに(電源スイッチを切り)電源プラグを抜いてください。



雷が鳴り出したら感電の恐れがありますので、電源プラグに触れないでください。



本ユニットの近くで携帯電話やPHSを使用しないでください。本ユニットが誤動作をする恐れがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください



注意



直射日光のあたる場所や、異常に温度が高くなる場所に置かないでください。



通風口をふさがないでください。



湿気やほこりの多いところに置かないでください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを接続する際は、火災や感電を防止するためにもきちんと奥まで挿入してください。



電源ケーブルの接続や配線は、本マニュアルの「接続方法」に従って正確に行ってください。



ホストコンピュータや周辺機器の接続/取り外しをする場合には、必ず大もとの電源コードをACコンセントから抜いてください。
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま、接続/取り外しをすると、感電の恐れがあります。



本ユニットを不安定な場所に設置しないでください。
落ちたり、倒れたりして思わぬけがの原因となります。

目次

安全にお使いいただくために	2
本書を読まれるにあたって	6
梱包箱の中身	7
梱包材	7
開梱	7
ハードウェア編	8
各部の名称と働き及び設定方法 (SCSI ID等)	8
サーバー機器等への設置方法	14
サーバー機器側の設定方法	15
SDT-9000/NE-R4の使用方法	19
清掃	21
注意事項	22
4mmデータカートリッジ	24
4mmデータカートリッジの構造	24
仕様・保管・運搬条件	24
ラベル	25
ライトプロテクト	26
取り扱い上の注意事項	26
使用禁止基準	29
寿命	29
重要なデータのセーブについて	30
データの3世代管理について	31
付録	32
主な仕様	32
LED表示一覧	33
運用状況お客様記入シート	36

本書を読まれるにあたって

本書はSDT-9000/NE-R4 内蔵 DAT の取扱説明書です。サーバー機器本体の操作説明についてはサーバー機器のマニュアルをご覧ください。

ご注意

SDT-9000/NE-R4 には当社製4mmデータカートリッジ(EF-2417(125m)、EF-2409(120m)、EF-2407(90m))をご使用ください。

当社製以外の4mmデータカートリッジを使用するとリード/ライトエラーの原因となる場合があります。

梱包箱の中身

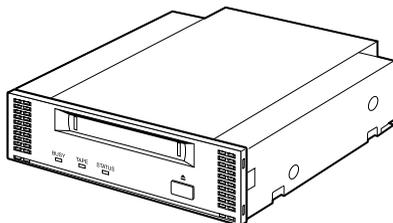
梱包材

本機を輸送するときは、本機の梱包に使用されている当社製の梱包材を入れていただくようお願い致します。

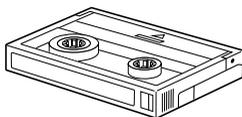
開梱

梱包箱を開けて、必要な付属品が揃っていることをご確認ください。

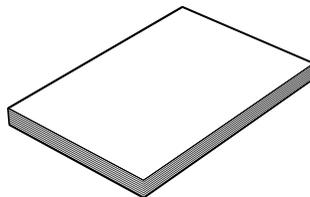
SDT-9000/NE-R4 内蔵DAT



クリーニングカートリッジ



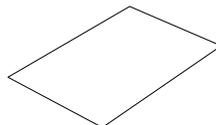
取扱説明書(本書)



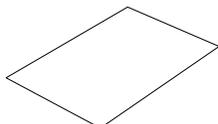
取り付けネジM3(4本)



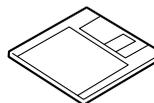
保証書



DAT装置 取り扱いについて



Floppy Disk(テープ監視ツール)



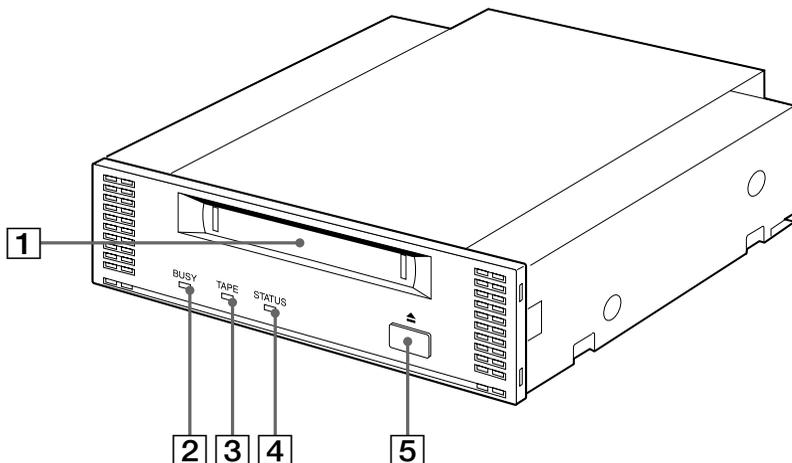
注意

SDT-9000/NE-R4 内蔵DAT 装置を譲渡する場合は、取扱説明書と一緒に譲渡すること。

ハードウェア編

各部の名称と働き及び設定方法 (SCSI ID等)

前面



1 4mmデータカートリッジ挿入口

4mmデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては「4mmデータカートリッジの挿入」および「4mmデータカートリッジの抜き取り」をご覧ください。

2 BUSYインジケータ

SCSIインターフェースを通してデータのやり取りが行われているときに点灯します。

また、挿入されている4mmデータカートリッジのデータが正常に読み取り書き込みが行われているときは等間隔に点滅します。

このランプが点灯している間に電源のON/OFFを行うとリードエラーが発生したり、異なったデータを書き込んだり、4mmデータカートリッジに致命的な傷をつける恐れがありますので、絶対に行わないでください。

3] TAPEインジケータ

4mmデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

カートリッジの出し入れを行っているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジが劣化してきたとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

4] STATUSインジケータ

挿入されている4mmデータカートリッジが書き込み禁止状態になっているときに点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

クリーニングが必要なとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。
クリーニング中、テープが最後までできたとき	等間隔に点滅します。
ドライブが故障しているとき	短い点灯(2回)と長い消灯を繰り返します。

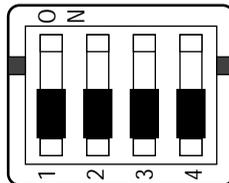
5] EJECTボタン

データカートリッジを本機から取り出すときに押します。

底面

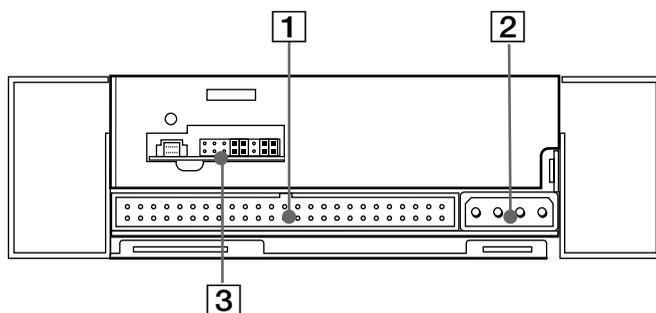
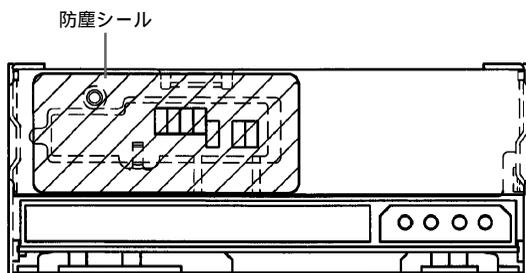
ご注意

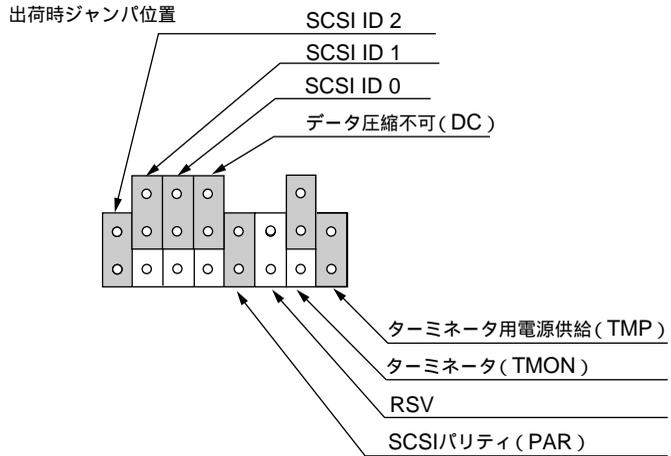
ディップスイッチは下記の初期設定から変えないでください。



背面

内蔵DATの背面には、下図のように防塵シールが貼付されています。ジャンパの設定を変更する場合は、防塵シールをはがして設定した後、再度この防塵シールを貼付して穴をふさいでください。





1 信号コネクタ

SDT-9000/NE-R4 内蔵 DAT を制御するための SCSI 信号コネクタです。

2 DCコネクタ(+5V/ +12V)

SDT-9000/NE-R4 内蔵 DAT に電源を供給するためのコネクタで、基本処理装置内の電源ケーブルを差し込みます。

3 オプションジャンパ

オプションジャンパで SCSI ID 番号、データ圧縮、SCSI パリティ、ターミネータ、ターミネータ用電源供給を設定します。それぞれのジャンパ位置は上図のとおりです。

SCSI ID番号ジャンパ

SCSI ID 番号ジャンパでSCSI ID 番号を設定します。下記の表に設定可能なSCSI ID 番号とそれに対応するジャンパ構成を示します。

SCSI ID	2	1	0	DC	PAR	-	TMON	TMP
0	x	x	x	-	-	-	-	-
1	x	x		-	-	-	-	-
2	x		x	-	-	-	-	-
3	x			-	-	-	-	-
4*		x	x	-	-	-	-	-
5		x		-	-	-	-	-
6			x	-	-	-	-	-
7**				-	-	-	-	-

= ジャンパあり

x = ジャンパなし

ご注意

* 出荷時には、SCSI ID 番号は4に設定されています。

** SCSI ID 番号を7に設定しないでください。

ターミネータ用電源供給ジャンパ (TMP)

ターミネータ用電源をSCSIバス上に供給するかどうかを設定します。

タームパワー	2	1	0	DC	PAR	-	TMON	TMP
供給あり	-	-	-	-	-	-	-	
供給なし	-	-	-	-	-	-	-	x

= ジャンパあり

x = ジャンパなし

ご注意

出荷時には、ドライブからのターミネータ用電源の供給ありに設定されています。出荷時設定でご使用ください。

ターミネータの設定 (TMON)

本機をSCSIバスの終端に接続する場合は、必ずターミネータ有効に設定してください。また、SCSIバスの終端以外に接続する場合はターミネータ無効に設定します。

ターミネータ	2	1	0	DC	PAR	-	TMON	TMP
ターミネータ有効	-	-	-	-	-	-		-
ターミネータ無効	-	-	-	-	-	-	x	-

= ジャンパあり

x = ジャンパなし

ご注意

出荷時にはターミネータ無効に設定されています。

パリティジャンパ (PAR)

パリティジャンパでパリティ機能を設定します。

SCSIパリティ	2	1	0	DC	PAR	-	TMON	TMP
パリティ機能有効	-	-	-	-		-	-	-
パリティ機能無効	-	-	-	-	x	-	-	-

= ジャンパあり

x = ジャンパなし

ご注意

- 出荷時にはパリティ有効に設定されています。
- 出荷時設定でご使用ください。

データ圧縮 (DC)

このジャンパによってデータの圧縮有効 / 不可を設定します。データの圧縮機能を無効にするには、データ圧縮不可に設定後パワーオンリセットを行ってください。

データ圧縮	2	1	0	DC	PAR	-	TMON	TMP
データ圧縮不可	-	-	-		-	-	-	-
データ圧縮有効	-	-	-	x	-	-	-	-

= ジャンパあり

x = ジャンパなし

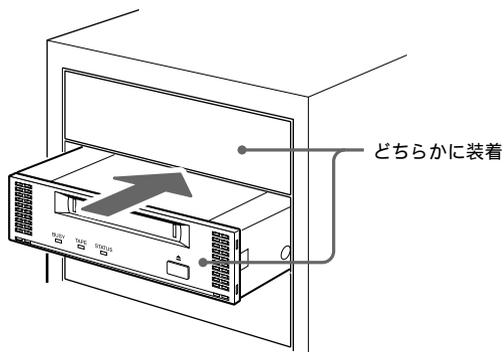
ご注意

- 出荷時にはデータ圧縮有効に設定されています。
- 出荷時設定でご使用ください。

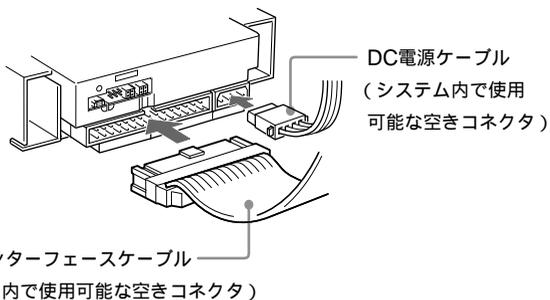
サーバー機器等への設置方法

サーバー機器等への設置方法例を以下に示します。

1 下の図の位置にSDT-9000/NE-R4内蔵DATを取り付けます。



2 下の図のようにインターフェースケーブルを接続してください。



ご注意

- 設置の際には、SCSI ID、終端抵抗等の各設定の確認をお願いします。
- 本装置の出荷時のSCSI IDは4に設定されています。他のSCSI IDと重複しないように設定してください。

サーバー機器側の設定方法

WindowsNT3.5/3.51をご使用の方へ

本装置をWindowsNTのNTBACKUPで使用する場合、テープデバイスドライバー「4mm SONYドライブ」を組み込む必要があります。

ご注意

NTバックアップを使用する場合は、他のバックアップアプリケーションをインストールしないでください。インストールしている場合はアンインストールしてください。またNTバックアップ以外のアプリケーションを使用する場合は「4mmSONYドライブ」を削除してください。

テープデバイスドライバーの追加手順

準備

WindowsNT **インストール媒体**(CD-ROM)を用意してください。

組み込み手順

- 1 WindowsNTのメイングループ内の「WindowsNTセットアップ」を選択します。
- 2 「WindowsNTセットアップ」の「設定」メニューで「テープデバイスの追加と削除」を選択します。
- 3 「テープデバイスのセットアップ」ウインドウで「追加」を選択します。
- 4 「テープデバイスのオプション選択」ウインドウでデバイス名「4 mm SONYドライブ」を選択し、「組み込み」ボタンを選択します。
- 5 WindowsNT **インストール媒体**(CD-ROM)からテープデバイスドライバーを組み込みます。CD-ROMドライブ名が正しいことを確認してください。
 - WindowsNT **インストール媒体**(CD-ROM)をCD-ROMドライブにセットしてください。
- 6 「続行」ボタンを選択します。

- 7 組み込まれているテープデバイス一覧に「4 mm SONYドライブ」が表示されていることを確認し、「閉じる」を選択します。
- 8 「WindowsNT セットアップ」を終了し、システムを再起動してください。
 - ・組み込んだテープデバイスが有効となるのは、システムの再起動後となります。

WindowsNT4.0をご使用の方へ

本装置をWindowsNTのNTバックアップで使用する場合、テープデバイスドライバ「4mmDATドライブ」を組み込む必要があります。

ご注意

NTバックアップを使用する場合は、他のバックアップアプリケーションをインストールしないでください。インストールしている場合はアンインストールしてください。またNTバックアップ以外のアプリケーションを使用する場合は「4mmDATドライブ」を削除してください。

テープデバイスドライバの追加手順

準備

WindowsNT インストール媒体(CD-ROM)を用意してください。

組み込み手順

- 1 WindowsNTの「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。
- 2 「コントロールパネル」の「テープデバイス」を選択します。
- 3 「テープデバイス」の「ドライバ」ウィンドウで「追加」を選択します。
- 4 「テープデバイスのオプション選択」ウィンドウでデバイス名「4mmDATドライブ」を選択し、「OK」ボタンを選択します。

- 5 WindowsNT インストール媒体(CD-ROM)からテープデバイスドライバーを組み込みます。CD-ROMドライブ名が正しいことを確認してください。
 - WindowsNT インストール媒体(CD-ROM)をCD-ROMドライブにセットしてください。
- 6 「OK」ボタンを選択します。
- 7 組み込まれているテープデバイス一覧に「4mmDATドライブ」が表示されていることを確認し、「閉じる」を選択します。
- 8 「WindowsNT セットアップ」を終了し、システムを再起動してください。
 - 組み込んだテープデバイスが有効になるのは、システムの再起動後となります。

NetWare 3.12J/4.1J/4.11J(IntranetWare)をご使用の方へ

本装置をNetWare で使用する場合、TAPEDAI.DSK モジュールは「96/10/18 13:00」以降のもの(DDS-3対応版)をご使用ください。ファイルが古い場合は下記に従い、置換する必要があります。なお、TAPEDAI.DSK モジュールはNetWare の表記のバージョン(3.12J/4.1J/4.11J)で共用です。

入手方法

最新モジュールの入手には次の方法があります。

- 1 NECワークステーションサーバ販売推進本部のInterRISOAS "<http://www.sys.wsd.mt.nec.co.jp/>" から入手できます。
- 2 Novell 社の NetWire-J、または HomePage (<http://www.novell.co.jp>)から入手できます。

入れ換え手順

準備

次のファイルを引き上げ、空きFDにコピーします。このFDを「TAPEDAI
アップデートFD」とします。

- TAPEDAI.DSK 96/10/18 13:00以降のもの
- NWSHELL.NLM

NWSHELLが入手できない場合は、下記SYSボリューム領域の入れ
換えは、クライアントから行います。

DOS領域の入れ換え

- 1 NetWare サーバマシンの電源を入れ、DOSを起動します。
(NetWareが起動した場合は、DOWN/EXITでDOSに戻ります。)
- 2 NetWare サーバのあるディレクトリのTAPEDAIを置き換えます。
下記は、NetWareサーバのあるディレクトリがc:¥nwserverの場合の例
です。
ren c:¥nwserver¥tapedai.dsk *.old
copy a:¥tapedai.dsk c:¥nwserver(ドライブA:がアップデートFD
の場合)

NetWareのSYSボリューム領域の入れ換え

- 1 NetWare サーバを起動します。
- 2 アップデートFD内に引き上げたNWSHELLを、サーバコンソールから
下記のコマンドを実行して、管理者で起動します。なお、
NWSHELL.NLMを使わず、クライアントから作業する場合は、管理者で
ログインし、SYSボリュームをMAPしておきます(以下、ドライブZ:と仮
定)。
load a:¥nwshell 管理者名(ドライブA:がアップデートFDの場合)

3 SYSボリューム内のTAPEDAI.DSKを入れ換え、属性を元に戻します。

NWSHELLの場合

```
flag %system%tapedai.dsk N
```

```
copy %system%tapedai.dsk %system%tapedai.old
```

```
copy %tapedai.dsk %system(ドライブA:がアップデートFDの場合)
```

```
flag %system%tapedai.dsk Ro
```

クライアントからの場合

```
flag z:%system%tapedai.dsk N
```

```
ren z:%system%tapedai.dsk *.old
```

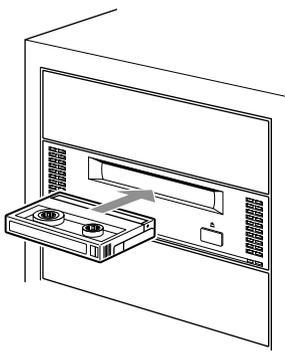
```
copy a:%tapedai.dsk z:%system(ドライブA:がアップデートFDの場合)
```

```
flag z:%system%tapedai.dsk Ro
```

SDT-9000/NE-R4の使用方法

4mmデータカートリッジの挿入

- 1 下図のように4mmデータカートリッジを矢印の方向に挿入します。
ある程度挿入すると4mmデータカートリッジが自動的に引き込まれます。

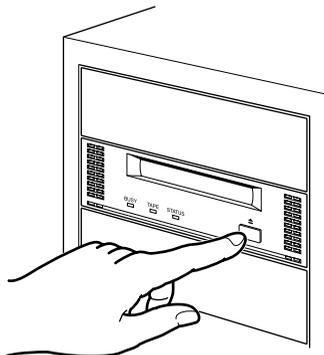


ご注意

- テープの切れたカートリッジを挿入した場合、自動的に排出されます。

4mmデータカートリッジの抜き取り

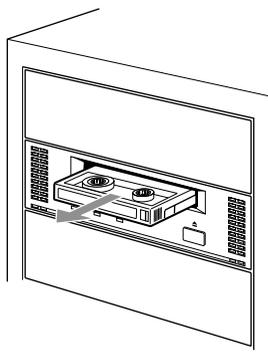
- 1 EJECT ボタンを押します。
4mm データカートリッジが排出されます。



ご注意

テープが巻戻ってから排出されますので、4mmデータカートリッジが排出されるまで、最長約2分かかります。

- 2 4mm データカートリッジを引き抜きます。



ご注意

- カートリッジを入れたままでの移動はやめてください。
移動する場合は、必ずカートリッジをDAT装置から取り出してください。
衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを傷める場合があります。
- 電源を切るときは、カートリッジを取り出してください。
カートリッジを入れたままで電源を入れると、カートリッジの寿命が短くなったりバックアップに失敗する場合があります。

- カートリッジが挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください。

カートリッジの寿命が短くなったり、DAT装置の故障の原因となることがあります。

- BUSY インジケータが点滅中はEJECT ボタンを押さないでください。
BUSYインジケータが点滅しているときに4mmデータカートリッジを取り出すと、テープ上に記録されているデータが破壊される恐れがあります。
- EJECT ボタンを押してもカートリッジが排出されない場合には、EJECT ボタンを10秒以上押し続けることで強制的に排出させることができます。ただし、強制排出はテープを傷つける可能性もありますので、あくまでも緊急処置とお考えいただき、まずは電源OFF/ONによる再起動を行ってください。

清掃

ヘッドの清掃

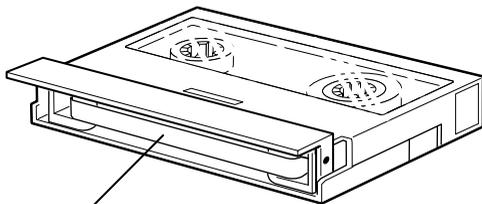
クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほごりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み/読み取り等、行いますと正常に書き込み/読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

- 1 添付のクリーニングカートリッジまたは、EF-3237C/3237CNをSDT-9000/NE-R4 内蔵DAT に挿入します。
クリーニングが自動的に行われ、約30秒後にクリーニングカートリッジが排出されます。
- 2 クリーニングカートリッジを取り出します。
これでクリーニングが完了です。通常どおりでご使用ください。

ご注意

- クリーニングカートリッジは、EF-3237C の場合は約30回、添付品またはEF-3237CN の場合は約50回使用できます。クリーニング終了後に、STATUS LED が点滅したときは、クリーニングカートリッジが寿命です。(LED表示は9ページハードウェア編 [4](#) STATUS インジケータを参照してください。)

- ・使い切ったクリーニングカートリッジを挿入した場合は自動で排出されません。EJECT ボタンを押して取り出してください。
- ・クリーニングカートリッジのテープ面を手で触れたり、テープを巻戻して再使用しないでください。



クリーニングテープ面

ヘッドの清掃周期

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

使用頻度	クリーニング周期
1日1巻以下を使用	1週間に1回
1日2～3巻を毎日使用	1週間に2回
1日4巻を毎日使用	毎日

ご注意

- ・クリーニングはなるべく書き込み / 読み取り等、DAT 装置を使用する前に行ってください。
- ・新しいデータカートリッジに交換する前にはクリーニングを行ってください。
- ・DAT 装置を使用していない場合でも1ヶ月に1回はクリーニングを行ってください。

注意事項

保管および使用環境に関するご注意

- ・本機は温度上昇を防ぐため、シャーシに通風孔を開けています。通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所でのご使用は避けてください。また、本機を極端な高温下または温度変化の激しい場所で、保管および使用することは避けてください。

- 本機を直射日光の当たる場所や発熱をする器具の近くで、保管および使用することは避けてください。
- 本機を湿気の多い場所や、ホコリの多い場所で保管および使用することは避けてください。
- 本機は精密な電子部品でできていますので、衝撃を加えたり、振動の加わる場所で保管および使用することは避けてください。
- 本機の内部に水や液体のもの、金属類が入った状態でご使用になりますと危険です。異物が入らないよう、ご注意ください。
- 薬品の蒸気が発散している空気中や薬品に触れる場所で、保管および使用することは避けてください。
- 本機を解体した状態で保管および使用することは、故障や感電の原因となりますのでおやめください。
- 本機の上に重い物を置いた状態で、保管および使用することは避けてください。

その他

本機の外觀が汚れたときは、やわらかい布に水または洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど(揮発性のもの)の薬品でふくと、変形や変色の原因となることがあります。また殺虫剤をかけた場合も変形や変色の原因となることがありますのでご注意ください。

異常、故障の場合

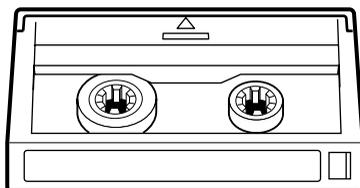
故障や異常(臭いや過熱など)に気づいたときは、ただちに電源ケーブルを抜いて、契約されている保守員または販売店にご相談ください。

廃棄について

本装置を廃棄する際は、各自治体の廃棄方法にしたがってください。

4mmデータカートリッジ

4mmデータカートリッジの構造



仕様・保管・運搬条件

使用条件

温度	10 ~ 35
湿度	20 ~ 80 %
放置時間	ただし、湿球の最高温度は26 とします。 使用および保管環境条件以外の環境に4mmデータカートリッジがさらされていた場合には、使用および保管環境条件以外の環境にさらされていた時間より長く(最大8時間)使用環境になじませてから使用してください。温度勾配は10 / 時間とします。

保管条件

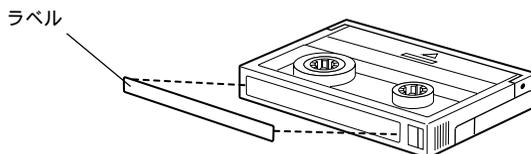
温度	5 ~ 35
湿度	20 ~ 80 %
保管状態	ただし、湿球の最高温度は26 とします。 4mmデータカートリッジは保護ケースに入れてふたをして保管してください。 置き方は水平、垂直どちらでもかまいません。

運搬条件

温度	- 30 ~ 35
湿度	20 ~ 80 % ただし、湿球の最高温度は26 します。
温度勾配	10 / 時間
運搬状態	4mmデータカートリッジを保護ケースに収納し、ポリ袋に入れて密閉してください。 輸送の場合には、さらにダンボール箱に入れて4mmデータカートリッジに力が加わらないように包装してください。

ラベル

ラベル貼付位置



ラベルへの記入上の注意事項

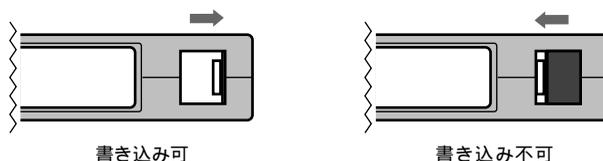
- 4mmデータカートリッジの内容を表示するために用いるラベルは簡単に取り換えることが可能で、取り外したあとに粘着物が残らないようなものを使用してください。
- 内容の表示を変更するときは、消しゴムで消さず、必ずラベルを貼り換えてください (INDEXラベルは、4mmデータカートリッジに添付されています)。
- ラベルを貼るときは前項で指定された位置に確実に貼り、さらに取り換える場合は、古いラベルを取り除いてから新しいラベルを貼ってください。
- 指定のINDEXラベル以外のものを使用する場合は、大きさが合ったものを使用してください。

- ・添付のINDEXラベルには、使用開始年月日が記入できるようになっていますので必ず記入してください。4mmデータカートリッジの寿命をチェックする目安となります。

ライトプロテクト

ライトプロテクトプラグを右下の図のように設定するとテープの内容が保護されます。

一度書き込んだデータを消去したくないときには、このプラグを右下の図のように設定してください。またライトプロテクトプラグを左下の図のように設定するとテープに書き込み可能となります。



取り扱い上の注意事項

使用上の注意事項

使用する前

- ・使用する4mmデータカートリッジが、外的損傷を受けていたり、または変形したり曲がっているときは、使用しないでください。
- ・装置の使用温湿度条件外で保管されていた4mmデータカートリッジを使用する場合は、使用温湿度条件外にあった時間より長く(最大8時間)使用環境に持ち込んでから使用してください。保管場所と使用場所の温度差が大きい場合は、一度に持ち込むのではなく温度変化が1時間に10程度になるようにして、4mmデータカートリッジを使用場所の温度になじませてください。

装置への装着時間

「4mmデータカードリッジの挿入」の項の説明に従って4mmデータカードリッジを装着してください。4mmデータカードリッジを取り出したあとの保護ケースは、しっかりと閉じチリやホコリの少ない場所で保管してください。

使用後

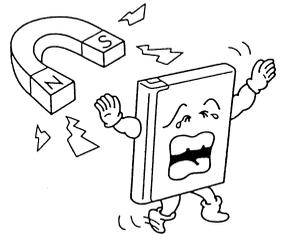
使用済みの4mmデータカードリッジは必ず保護ケースに入れてチリやホコリの少ない場所で保管してください。置き方は水平、垂直を問いません。

一般的注意事項

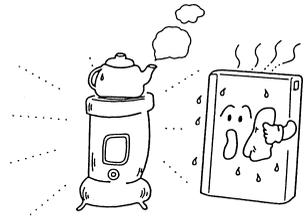
- テープに手を触れないでください。また、テープカバーを開閉しないでください。



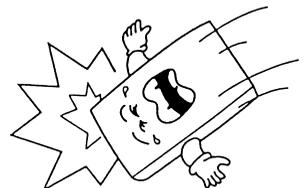
- 磁気を発生するものを近づけないでください。



- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください。



- 強い衝撃を与えないでください。



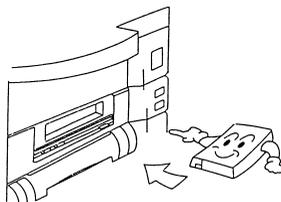
- 飲食や喫煙をしながらの取り扱い
は避けてください。また、シンナーや
アルコールなどを付着させないように
注意してください。



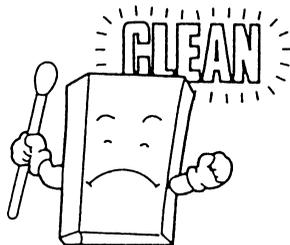
- 使用後は必ずケースに入れて保管し
てください。



- 装置への挿入は、ていねいに行っ
てください。



- 4mm データカートリッジ磁気テープ
は、ゴミやホコリを嫌います。



使用禁止基準

以下の項目に該当する場合は、新しい4mmデータカートリッジに取り替える必要があります。

- 落下させるなど強い衝撃を与え4mmデータカートリッジが損傷を受けた場合。
- 清涼飲料、コーヒー、紅茶など液体、溶剤や金属粉、たばこの灰などで記録面が汚れている場合。

備考

この状態で4mmデータカートリッジを装置に挿入するとヘッドや装置を損傷したり、汚したりすることになり、装置の故障の原因となります。また、ヘッドの汚れや傷に気付かず新しい4mmデータカートリッジを装置に挿入すると、4mmデータカートリッジを汚したり、傷つけたりして被害を広げることになります。

寿命

データカートリッジは書き込み/読み取り等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

DATテープの寿命は使用環境によってもことなりますが、以下を参考にしてください。

使用頻度	寿命の目安
1週間に1回	1年
1週間に3回	半年
毎日	3ヶ月

- 使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなる場合があります。

4mm データカートリッジの寿命管理として、下記の手順を実施いただくことをお勧めします。

- 新しい4mmデータカートリッジに管理番号を割り当て、その番号を4mmデータカートリッジのラベルに記入しておきます。
- 4mmデータカートリッジ管理台帳を作り、使用日を記録し、4mmデータカートリッジの使用年数と使用回数を見積ります。
- 定期的に、4mmデータカートリッジの管理台帳と標識ラベルを調べ、長く使用されていたり、書き込み、読み取りエラーが発生するなど信頼性が低い4mmデータカートリッジを廃棄します。

またテープ磁性層は、化学物質で構成されており時間経過と共に劣化します。

この劣化によるテープ寿命は、テープ保管の環境(湿度、温度)により大きく異なりますが、カートリッジを使用していない場合でも、購入してから約3年を目安に交換してください。

重要なデータのセーブについて

重要なデータまたはプログラムなどをセーブする場合には、万一の場合に備えて、正副2巻にセーブすることをお勧めします。

こうしておけば一方のテープがチリやホコリによるリードエラーを起こしても、もう一方のテープから復旧でき、大切なデータやプログラムの消失を防げます。

データの3世代管理について

ディスク上のデータをセーブする場合は、セーブしたデータの3世代管理をお勧めします。

3世代管理はテープ3巻(A、B、C)使用して、ディスク上のデータを1日目はテープAにセーブし、2日目はテープBに、3日目はテープCにセーブするというように、A B Cの順番でディスク上のデータをセーブしていくものです。

これにより、例えば一巻のテープCがリードエラーを起こした場合にはテープBのデータを使用してデータを復旧でき、またテープBがリードエラーを起こした場合でもテープAのデータを使用して大切なデータを復旧することができます。

添付品リスト

SDT-9000/NE-R4

クリーニングカートリッジ(1)

取扱説明書(1)本書

取り付けネジ(4)

保証書(1)

DAT装置 取り扱いについて(1)

付録

主な仕様

性能

記憶容量 12 G バイト(圧縮時:24 G バイト)
(EF-2417 使用時)

* 圧縮時の値は圧縮効率が2倍である場合の値です。圧縮効率はデータパターンにより変化します。

ビットエラーコード 10^{-15} 以下

データ転送速度(TAPE) 1,180 K バイト/秒(非圧縮時)

バーストデータ転送速度(SCSI)

5 M バイト/秒(最大、非同期)

10 M バイト/秒(最大、同期)

イニシャライズ時間 3 秒未満

ロード時間 24 秒未満

アンロード時間 20 秒未満

巻き戻し時間 80 秒未満(125 m テープ使用時)

環境条件

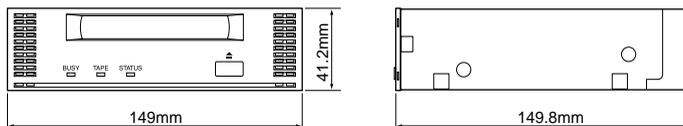
	周囲温度	相対湿度	最大湿球温度
動作時	10 ~ 35	20% ~ 80%	26 結露なきこと
運搬時	- 30 ~ 40	10% ~ 90%	26 結露なきこと
保管時	- 5 ~ 40	10% ~ 90%	26 結露なきこと

DC電源仕様

電圧	5 V \pm 5 %	12 V \pm 10 %
電流(Typ.)	1.0 A	0.21 A

寸法・重さ

幅	149 mm
高さ	41.2 mm
奥行	149.8 mm
重量	0.91 kg 以下



LED表示一覧

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常	正常	BUSY	点灯または消灯	<ul style="list-style-type: none"> • BUSY が点灯しているときは SCSI がアクティブです。 • データカートリッジが挿入されていません。 	
		TAPE	消灯		
		STATUS	消灯		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> • データカートリッジが走行中で、読み書き / 書き込み動作を行っています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> • データカートリッジの出し入れを行っています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	等間隔に点滅		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	点灯、消灯、または等間隔に点滅	<ul style="list-style-type: none"> • データカートリッジが挿入されています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	***		
正常	正常	BUSY	***	<ul style="list-style-type: none"> • 挿入されたデータカートリッジが書き込み禁止状態になっています。 	(注) この点灯状態の時に電源を落とさないようにご注意ください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	点灯		

テープ 状態	DAT装置			意味	対処方法
	装置状態	LED	点灯状態		
正常	正常	BUSY	消灯	・クリーニングカートリッジ を使いぎってしまった。	・新しいクリーニングカート リッジと交換してください。 また、交換された古いク リーニングカートリッジは再 使用しないでください。
		TAPE	点灯		
		STATUS	等間隔に点滅		
正常	正常	BUSY	***	・クリーニング要求を意味 します。	・クリーニングを実施してくだ さい。 ・クリーニングを実施後、す ぐに同じエラーが発生した 場合には、新しいデータ カートリッジを使用してくだ さい。
		TAPE	***		
		STATUS	長い点灯と 短い消灯の 繰り返し		
正常 または 異常	正常	BUSY	***	・データカートリッジが 挿入されており、定義さ れたメディアウォーニン グしきい値を超えたエ ラーが発生しています。 「警告のみ」 (データカートリッジが劣 化しています。)	・純正のクリーニングカー トリッジを使用してヘッドの クリーニングを実施してくだ さい。クリーニング後再度 データカートリッジを挿入し 同じエラーが発生した場合 には、新しいデータカート リッジを使用してください。 (または、クリーニング後新 しいデータカートリッジを使 用してください。)
		TAPE	長い点灯と 短い消灯の 繰り返し		
		STATUS	***		
正常 または 異常	正常 または 異常	BUSY	短い点灯と 長い消灯の 繰り返し	・リセット待機状態	・データカートリッジは、 EJECT ボタンを押しても排 出しません。ただしEJECT ボタンを10秒以上押し続け ることにより強制的に排出 させることが可能です。強 制排出はテープを傷つける 可能性もありますので、緊 急処置とお考えいただき、 まずは電源OFF/ONによ る再起動を行ってください。 ・DAT装置がハード的に 故障している可能性があります。 ・電源のOFF/ONによる 再起動を行ってください。 再起動後も同じエラーが発 生した場合は故障です。 DAT装置の交換が必要で す。
		TAPE	***		
		STATUS	***		

DAT装置					対処方法
テープ状態	装置状態	LED	点灯状態	意味	
正常 または 異常	正常 または 異常	BUSY	***	• イジェクト待機状態	• データカートリッジを取り出してください。新しいデータカートリッジを使用してください。データカートリッジを変えてもこのエラーが発生した場合は故障です。DAT装置の交換が必要です。
		TAPE	短い点灯と長い消灯の繰り返し		
		STATUS	***		
異常	異常	BUSY	***	• 装置が異常です。	• DAT装置がハード的に故障しています。 • DAT装置の交換が必要です。また、このとき使用していたデータカートリッジは、ハード故障によりデータが破壊している可能性があるため、別のデータカートリッジを使用してください。なお、このエラーが発生したDAT装置及びデータカートリッジは再使用しないでください。
		TAPE	***		
		STATUS	短い点灯(2回)と長い消灯の繰り返し		

*** はDAT装置の状態に応じてLEDの点灯のしかたが変わりますが、意味や対処方法に影響しません。

運用状況お客様記入シート

本装置を保守・管理する際に必要な情報を記録しておくメモ欄です。

項目	記入欄
基本処理装置モデル名	
オペレーティングシステム (OS)(名称、バージョン、 サービスパック / パッチの適 用状況)	
バックアップアプリケーション (名称、バージョン、サー ビスパック / パッチの適 用状況)	
SCSIバス構成 (SCSI ID / 同一バス上のデ バイス)装置設置環境	
装置設置環境 (温度、湿度、ホコリの状況な ど)	
カートリッジ種類 (メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ種 類(メーカー名、EF型番)	
クリーニングカートリッジ使 用状況(クリーニング周期、 使用回数や使用開始月の管 理方法など)	
カートリッジ使用状況 (使用回数や使用開始月の 管理方法など)	
カートリッジの管理状況	

N8151-12BC
内蔵 DAT 取扱説明書

2001年5月 初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL(03)3454-1111(大代表)

© NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容は予告なく変更することがあります。

NEC